

年間参加者、募集します。

○古文書講読会

近世地方文書に親しみ、地域の歴史を学びましょう。

期間 昭和61年5月17日～62年3月7日

第1・3土曜日、14～16時

対象 高校生以上

定員 30人

申込み 4月30日までに、往復はがきでお申込み下さい。

◇地層観察会

平塚市及びその周辺地域で地層（岩石）や地形の観察を行います。

期間 昭和61年4月～62年3月

毎月1～2回日曜日実施（年14回）

対象 中学生以上

定員 30人

申込み 希望の方に案内書を送付します。60円切手を同封し、4月10日までにお申込み下さい。

◇石仏を調べる会

市内の社寺、路傍などに建立されている石仏を調べて歩きます。今年度は、中原・南原地区から始めます。

期間 昭和61年4月12日～62年3月

第2・4土曜日の午後14～16時

定員 新会員15人を募集

申込み 往復はがきで、4月2日（必着）までにお申込み下さい。

★天体観察会

月食、流星群、ハレー彗星などを対象に、観測の方法と実際を学びます。

日程等くわしくは、館受付で配布中の案内書をごらん下さい。

募集人数 高校生以上20人

博物館受付で配布している用紙で、4月6日までにお申し込み下さい。（案内書の郵送を希望される方は、60円切手を同封してお申し込み下さい。）

♠ 土曜観察会

「水辺の自然観察」

相模川、花水川などで、野鳥や植物などの観察をします。

日時 原則として、第2、4土曜日

13時50分～17時

申込み 希望の方には日程表を送付します。封書に60円切手を添えてお申込み下さい。
(常時受付)



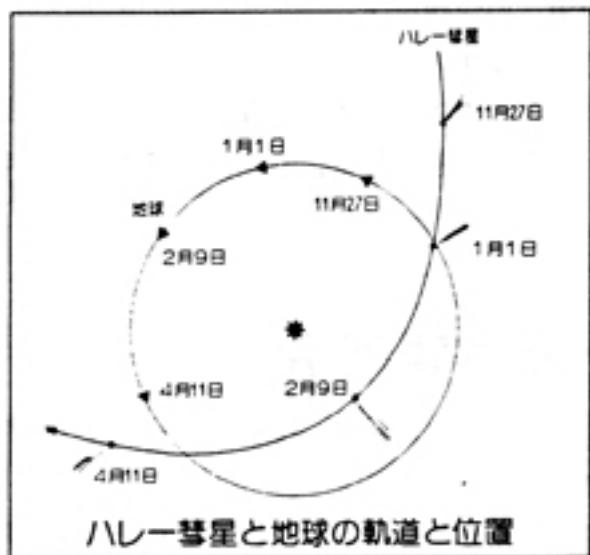
参加のお申込みは、住所・氏名・年令・電話番号等を記入の上、博物館まで。

☆ 来た！ハレー彗星

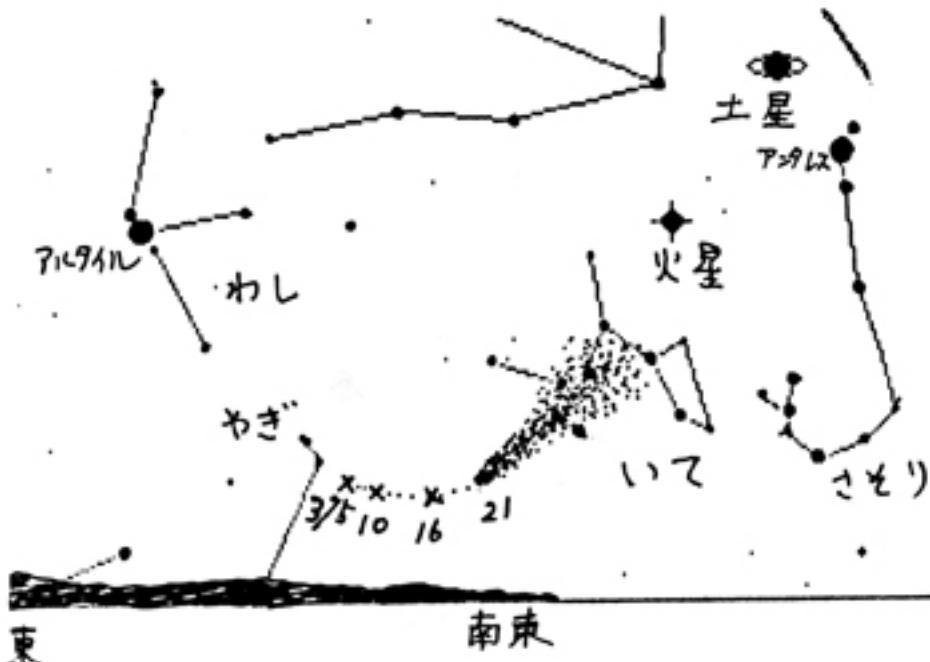
再びハレー彗星接近中

夜明け前の空にハレー彗星が移ってきました。1月初めには夕方の西空に見えていたハレー彗星ですが、ハレー彗星を見た人の印象の多くは「思ったより小さくて尾も良く見えなかった」とか、「本当にこれがハレー彗星？」など、期待していたほどではなかった、と思われたようです。

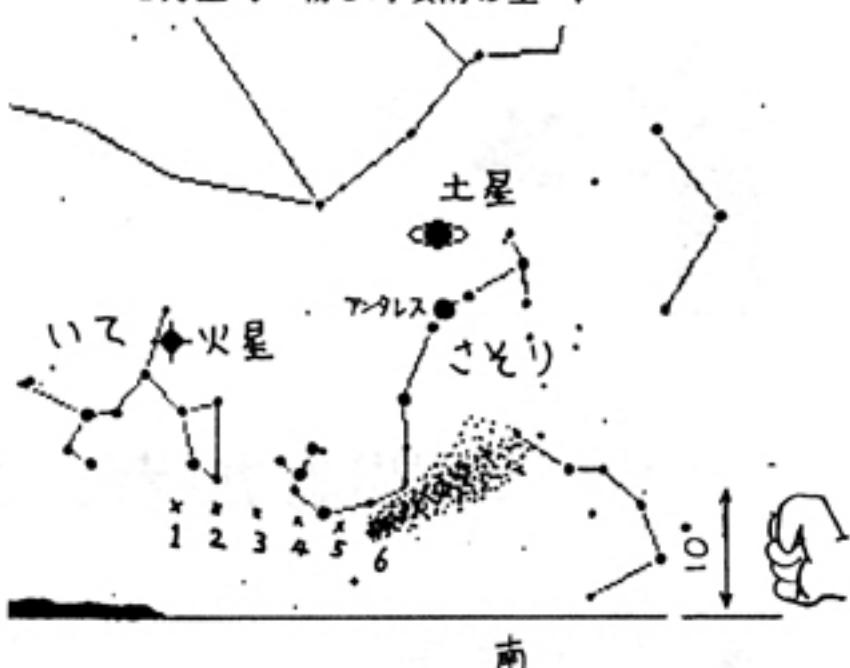
今度は4月11日に地球に6,300万Kmまで近づきますが、昨年の第1回目の接近の時とのちがいは、ハレー彗星が太陽のそばを通りすぎた後に地球に近づいて来ることです。太陽にいちばん近づいたのは2月9日。その時の距離は8,800万Km、地球太陽間のざつと5分の3、太陽の熱と光は地球の2.8倍の強さでハレー彗星を照らしていました。この熱と光がハレー彗星の姿を大きく変えるのです。



3月中旬～下旬 朝4時頃南東の空 ▼



4月上旬 朝3時頃南の空 ▼



彗星の中身は直径6Kmくらいの氷のかたまりと考えられていますが、太陽に近づくとその熱と光で盛んに蒸発を始めます。その時放出されるガスやチリが尾となって伸びますが、ハレー彗星のように太陽にかなり近づくと、急に蒸発が盛んになって大変りっぱな尾ができます。したがって、ハレー彗星の姿は太陽に近づく前と後ではかなり変化するのです。ですから第2回目の接近の時の姿はきっとほうき星にふさわしい姿になっているはずです。

ハレー彗星の動きははやい

ハレー彗星は流れ星のように飛んでいくことはありませんが、毎日星空を、みかけの月の直径の2倍から9倍も動いてしまいます。そのため、見える時刻がだんだん変わります。3月中旬は明け方の東南の空に現われますが、4月上旬には明け方に南の空に移り、中旬にはま夜中に南の空、下旬には9時ごろ南の空といったぐあいに移動してゆきます。

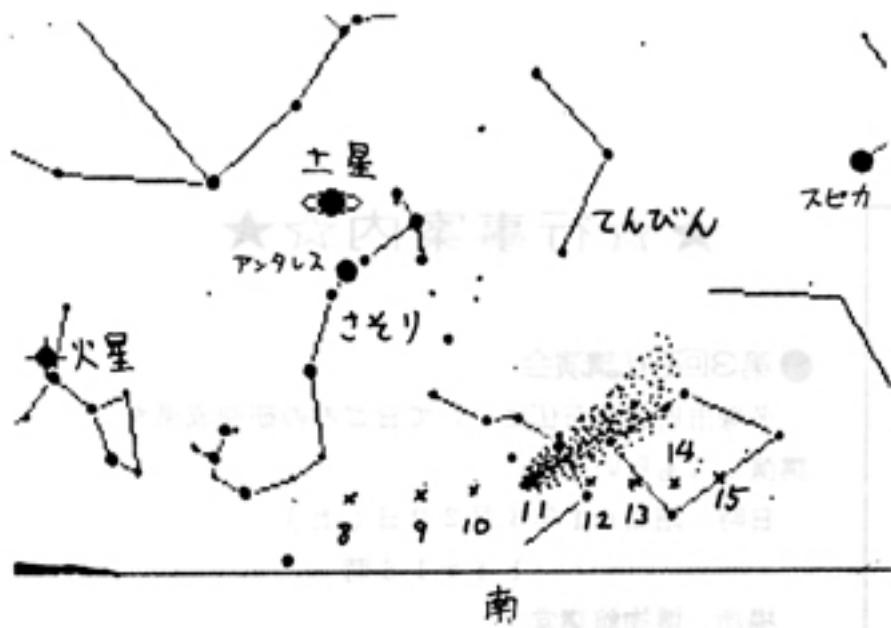
ハレー彗星を見るために

チャンスその1 3月8日～23日

3月上旬からは晴天に恵まれれば、明け方の南東の空にハレー彗星を見つけることができるでしょう。図2は明け方4時の東の空のようすです。海岸や東南から南のひらけた場所で見てください。機材は双眼鏡が必要です。

腕を伸ばした時のげんこつ
一個分が約10°です

▼4月中旬 2時頃南の空



チャンスその2 4月5日～15日

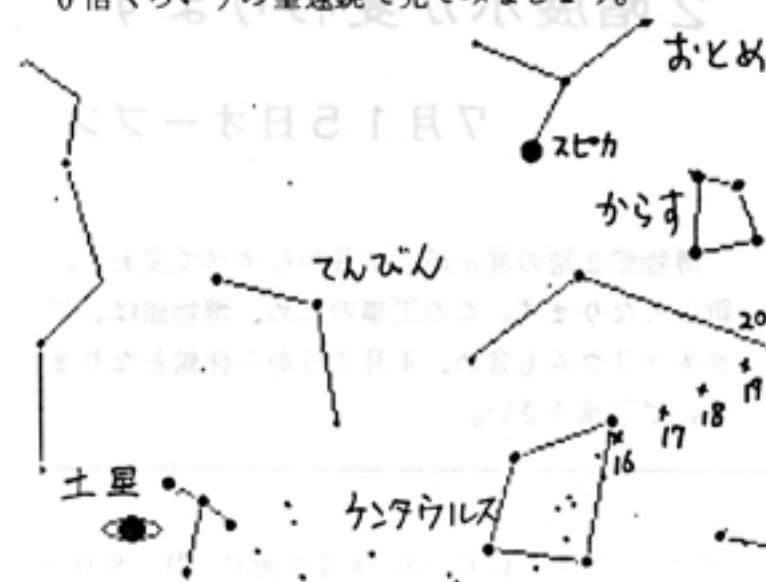
ハレー彗星は地球に最接近し、明るく大きくなっていますが、朝1時ごろから南の低い空、高度で約8度から10度くらいの空にいるため、南の空がすっきりと晴れた日、例えば大島が見えるような日でないと見えないでしょう。場所は南のひらけた場所で、機材は双眼鏡が必要です。

チャンスその3 4月24日

24日に皆既月食があります。月が地球の影に入っている午後9時から10時20分ごろまで、空も暗くなりますから南の空にいるハレー彗星を見るチャンスです。機材は双眼鏡が必要です。

チャンスその4 4月26日～5月11日

明るさは目では見づらい5等から6等と、暗くなってしまいますが、午後8時ごろには南の空30度くらいの高さに出てきます。なるべく南に街の明りのない場所で双眼鏡や低い倍率(20～30倍くらい)の望遠鏡で見てみましょう。



▲4月末 21時頃南の空

観察に良い場所

ハレー彗星は淡い光が大きく拡がった天体です。その明るさは天の川と同じようなものなので、できれば天の川が見えるくらいの場所が良いのです。平塚では湘南平、相模川河川敷、海岸、岡崎や土屋の南がひらけた場所などが良いでしょう。

プラネタリウム案内

会場開場時間：午前9時より午後6時まで 土曜日 8時

金曜日 午後6時より午後8時まで 日曜日 8時

(日曜日) 月曜日 11時

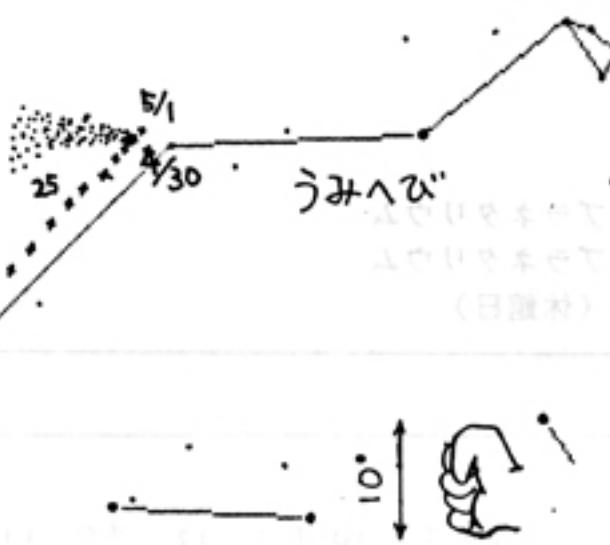
ハレー彗星が見える

投影日	券発売開始時刻	回	投影開始時刻
土曜日	朝9時より 第1回、第2回の券を同時発売する	第1回	14:00
日曜日	朝9時より 第1回、第2回の券を同時発売する	第2回	15:30
火曜日	学校専用	第1回	11:00
水曜・木曜日	学校・団体専用	第2回	14:00

●観覧料 1人 100円

●所要時間 1回 45分

●定員 128人



南

南西

♪♪3月の行事♪♪

1	土	プラネタリウム 古文書講読会
2	日	プラネタリウム
3	月	(休館日)
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	プラネタリウム 土曜観察会 石仏を調べる会
9	日	プラネタリウム 自然観察会
10	月	(休館日)
11	火	
12	水	
13	木	デッサン教室
14	金	移動博物館(神田公民館・星を見る会) デッサン教室
15	土	プラネタリウム 古文書講読会 移動博物館(同・平塚の野鳥展)
16	日	↓ プラネタリウム 体験学習「拓本墨を作ろう」
17	月	(休館日)
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	(休館日)
22	土	プラネタリウム 石仏を調べる会 土曜観察会 天体観察会(会員制)
23	日	プラネタリウム 地層観察会
24	月	(休館日)
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	プラネタリウム
30	日	プラネタリウム
31	月	(休館日)

★☆行事案内☆★

●第3回石仏講演会

平塚市周辺の石仏について日ごろの研究成果を講演してもらいます。

日時 昭和61年3月22日(土)

14~16時

場所 博物館講堂

内容 「地神塔とその周辺をめぐって」

参加自由、無料。

●自然観察会(生物)「干潟の渡り鳥」

日時 4月20日(日)(雨天中止)

9~16時

場所 相模川河口

申込み 4月5日までに往復はがきでお申込み下さい。多数の場合は抽せんにより30人までとさせていただきます。

* 4月7日から休館 * * *

2階展示が変わります

7月15日オープン

博物館2階の展示が、7月からすべて変わり、新しくなります。この工事のため、博物館は、プラネタリウムも含め、4月7日から休館となります。ご了承下さい。